

第40回全日本実業柔道個人選手権大会・報告書

第40回全日本実業柔道個人選手権大会は8月28日、29日の両日、兵庫県尼崎市記念公園総合体育館で開催された。男子8種目（体重制7階級と22歳未満の部）、588名、女子7種目（体重制7階級）、142名の計730名、昨

を僅かに6名下回る過去3番目の規模の大会となった。選手諸君は所属チームの応援団や地元尼崎の柔道ファンの声援を背に受け、6試合場で熱い戦いを繰り広げた。



開会式であいさつする阿南大会副会長

初日の開会式は9時20分開始。米田圭佑大会副委員長の開会宣言、国歌斉唱の後、阿南惟正大会副会長の開会挨拶、来賓紹介、芝林昇尼崎市教育委員会教育次長の来賓挨拶、白井文尼崎市長からの祝電披露、諏訪剛審判長の試合上の注意、前年度女子63kg級優勝、コマツ谷本育実選手の選手宣誓と続き、9時50分から試合を開始した。

初日の結果。男子は、81kg級で初出場の花本隆司3段（京葉ガス）が鮮やかな一本勝で優勝を飾り、73kg級は新人齋藤涼3段（旭化成）が延長戦判定に及ぶ接戦の末、鳥居智男5段（了徳寺学園）のV8を阻んで初優勝。66kg級は浅野大輔3段（自衛隊体育学校）が60kg級から階級を上げて出場し、オール一本勝で念願の初優勝を遂げた。60kg級は小川武志5段（了徳寺学園）が通算7度目、6連覇の偉業を達成し、22歳未満は小野勇輝2段（新日本製鐵・広畑）が岡一太朗2段との僚友対決を一本勝で制し、嬉しい初優勝を飾った。

女子では、57kg級で佐藤愛子3段（了徳寺学園）が激しい攻撃柔道で初優勝を果たし、52kg級では近藤優子3段（S・T・O）が決勝戦で3年連続の対戦となった小島愛子2段（自衛隊体育学校）を優勢勝で降して3連覇を遂げた。48kg級は、山岸絵美3段（三井住友海上火災保険）が延長戦で新ルール適用による指導2で初優勝した。

最終日。男子では、100kg超級で、ベテランの生田秀和6段がオール一本勝で2度目の優勝を飾り、100kg級で本郷光道3段（フォーリーフジャパン）が足技の牙えを見せ、通算3度目、2連覇を果たす。90kg級は吉永慎也4段（新日本製鐵・広畑）が2年ぶりに階級を上げて出場し、鮮やかな逆転勝で増淵樹3段（旭化成）を破り、81kg級優勝に続く2度目の優勝を遂げた。

女子は、78kg超級で新人の石山麻弥2段（丸順）が、強敵の立山真衣3段（フォーリーフジャパン）を延長戦で降して優勝、78kg級では池田ひとみ3段（自衛隊体育学校）が嬉しい初優勝を果たした。70kg級では今井優子3段（了徳寺学園）が決勝戦で豪快な一本勝を収めて堂々の3連覇を飾った。



全国各地から出場した選手が集う開会式



選手宣誓する谷本育実選手（コマツ）

男子100kg超級 “ベテラン生田、格の違いを見せオール一本勝で制覇”

ALSOOKの生田は、立って良し、寝て良し。初戦から立ち技、寝技の多彩な柔道で勝ち進み、準決勝戦では、強豪を次々に倒して勝ち上がった旭化成木村と対戦。ここでも生田は姿勢正しい柔道スタイルを貫き、開始37秒、木村を見事な内股で投げ飛ばして悠々オール一本勝で決勝戦に駒を進める。

一方、了徳寺学園の西村は、ここまでの4試合中2試合を僅差判定勝という接戦を制して勝ち上がる。準決勝戦での京葉ガスのベテラン市川に対しては、生田同様に開始39秒、秒殺の一本背負投で一本勝して決勝戦へ進出。

7年ぶり、2度目の優勝を目指す生田と初優勝を狙う新鋭西村との決勝戦。生田は開始早々内股、大外刈で果敢に攻める。対する防戦の西村に59秒、指導1。その後も生田の攻勢で試合が進行するが、西村は隙を見ては低い一本背負投で応じ、1分44秒西村が一本背負投と見せての小内刈で技ありを奪う。リードされた生田は2分4秒、豪快に右刈足を高く伸ばして鋭く深く刈り込み、西村を畳に叩き付ける。生田の鮮やかな大外刈、一本。歴戦のベテラン生田がオール一本勝で7年ぶり2度目の優勝を飾る。



優勝した生田選手 (ALSOK)

生田の話

怪我をしてからのこの1年間、十分な稽古も出来ず歯痒い思いをして来ましたが、納得のいく成績を残せず心底悔しい思いをし、悩んだ日々が続きました。しかし、怪我を理由にこのまま現役を終える事は私自身、納得いくものではなく、もう一度自分の限界に挑戦しようという心に決めました。今回優勝する事が出来たのは、会場の皆様からのサポートを始め、様々な方からの応援のおかげであると思っています。また、私自身7月に結婚をしたことが大きな心の支えになりました。次の目標である講道館杯で優勝出来るよう日々稽古に努めていきたいと思っています。

【成績】

優勝 生田秀和 (ALSOK)
準優勝 西村久毅 (了徳寺学園)
第3位 木村 純 (旭化成)
第3位 市川裕治 (京葉ガス)

▽準々決勝

○木村 優勢勝 村上 (ALSOK)
○生田 横四方固 紺野 (京葉ガス)
●西村 判定勝 辻 (旭化成)
○市川 浮落 大鋸 (旭化成)

▽準決勝

○生田 内股 木村
○西村 一本背負 市川

▽決勝

○生田 大外刈 西村

男子100kg級 “本郷が多彩な足技で、通算3度目、2連覇達成”

フォーリーフジャパンの本郷は、左刈足からの多彩な足技を駆使し、順当に準決勝戦に勝ち進む。準決勝戦は、堅実な柔道で駒を進めてきた旭化成の野田と対戦。野田を開始22秒、払腰で宙に舞わせて難なく決勝戦に進出。

対する旭化成の新人西潟は、豪快な柔道で順調に勝ち上がり、準決勝戦では一昨年のチャンピオン了徳寺学園森本を開始20秒、小外掛で技ありを奪いそのまま袈裟固で抑え込む。西潟も楽々決勝戦へ。

左右のケンカ組手の両者の決勝戦。序盤は組み合う度に攻守ところを変え、白熱の戦いが続く。本郷に指導2、西潟に指導1で迎えた3分35秒には、場外際で本郷がゆったりとした動作の左小内刈から一転、素早く刈り込み西潟から技ありを奪う。その後は本郷が自分の姿勢を保ち、受けに回った西潟に3分35秒指導2。引き続き本郷は更に優位に立ち、西潟の反撃を許さず試合終了。本郷足技の冴えを見せ、2年連続3度目の優勝を遂げる。



優勝した本郷選手 (フォーリーフジャパン)

本郷の話

全日本を冠した大会での2連覇は初めてなので、大変うれしく思います。今年には春に怪我をしてしまい、直前まで追い込んだ練習が出来ていなかった中での試合となりましたが、普段とは違った状況下でも結果に繋がれたことは、大きな自信になりました。次は講道館杯ですが、昨年までの惨敗の経験を踏まえ同じ轍は踏まないよう、全力を出しきりたいと思います。

【成績】

優勝 本郷光道 (フォーリーフジャパン)
準優勝 西潟健太 (旭化成)
第3位 野田嘉明 (旭化成)
第3位 森本翔太 (了徳寺学園)

▽準々決勝

○本郷 大内刈 角 (東レ・滋賀)
○野田 優勢勝 影野 (日本連連)
○森本 優勢勝 林 (京葉ガス)
○西潟 小外刈 齋藤 (新日本製鐵・広畑)

▽準決勝

○本郷 払腰 野田
○西潟 合せ技 森本

▽決勝

○本郷 優勢勝 西潟

男子90kg級

“吉永、絶体絶命の危機を起死回生の一本背負投で逆転し2階級制覇”

旭化成の増測はその実力を遺憾なく発揮し、オール一本勝で準決勝戦に進み、同じくオール一本勝で上がって来た了徳寺学園の穴井と対戦。ここでも増測は中盤の2分57秒、狙い澄ませたような見事な大外刈で穴井を破り、2年ぶりの決勝戦の舞台へ。片や、階級を上げて2年ぶりに出場した新日本製鐵・広畑の吉永は、準決勝戦で同様に快調に勝ち上がって来たツクバ計画の佐藤を、3分14秒に得意の寝技（上四方固）で抑え込み、一本勝で決勝戦に臨む。

決勝戦は増測左、吉永右のケンカ組手の対戦。リーチの長い増測は吉永を上から押さえて大内刈、内股で攻め立て、防戦の吉永は瞬く間に3分6秒に指導3を受ける。しかし、吉永は3分20秒、畳みかける増測の攻撃の一瞬の隙を衝いて、左に回り込みながら右一本背負投で増測を転がして技ありを奪う。吉永はこの機を逃さず、伏せる増測を三角絞から3分55秒に横四方固に抑え込み、合せ技一本を決める。吉永は35回大会の81kg級優勝に続く2階級制覇達成。



優勝した吉永選手
(新日本製鐵・広畑)

吉永の話

90kg級初挑戦でしたが特に相手が強いとか弱いとか意識せずにおもいつき自分の柔道ができました。

勝因としては今年に入ってから大きな怪我がなく練習がしっかりできていた事と、減量を気にせずに食事ができた事だと思います。

講道館杯では前に出る攻めの柔道で優勝目指して戦います。

応援よろしくお願いします。

【成績】

優勝 吉永慎也 (新日本製鐵・広畑)
準優勝 増測 樹 (旭化成)
第3位 穴井亮平 (了徳寺学園)
第3位 佐藤陽介 (ツクバ計画)

▽準々決勝

○増測 一本背負 河原 (京葉ガス)
○穴井 横車 山本 (日本中央競馬会)
○佐藤 足払 菊川 (OJC)
○吉永 合せ技 松岡 (府中刑務所)

▽準決勝

○増測 大外刈 穴井
○吉永 上四方固 佐藤

▽決勝

○吉永 合せ技 増測

男子81kg級

“新進気鋭花本が華麗な立ち技で強敵を次々降して、堂々の初優勝”

旭化成谷口は本大会絶好調。了徳寺学園矢野等の強豪をオール一本勝で退けて順調に勝ち上がる。京葉ガス期待の新人西岡との準決勝戦では、指導2のリードで迎えた終了間際に小内刈でだめ押しの有効を奪い、4度目の決勝戦に進軍。

一方、進境著しい京葉ガスの花本は、九州電力山本等の強敵を退け、破竹の勢いで勝ち進む。準決勝戦ではオール一本勝で勝ち上がったALSOKの法兼と対戦。ここでも花本は一方的に攻め続け、2分12秒に低い右背負投を鮮やかに決め、決勝戦進出。

決勝戦。花本は右組みから大外刈、払腰、背負投と多彩な技を繰り出し、谷口に1分32秒指導1。その後谷口が攻撃を開始するも、1分57秒左大外刈を小外掛で返して技ありを奪う。リードを奪った花本はその後も攻撃の手を休めず、谷口の両袖を握り、右袖釣込腰で谷口を担ぎ上げ、2分25秒花本の右肩口越しに谷口を大きく転がす。花本、見事な一本勝で初優勝に花を添える。



優勝した花本選手
(京葉ガス)

花本の話

社会人になってから思うような結果が出ていなかった中、40回目という節目の大会で優勝できたことをとても嬉しく思います。今回、優勝という結果が出せたのは日頃より職場の方々にご理解頂き、思う存分練習に取り組みることができたからだと思っています。社会人として仕事と柔道の両立は大変ではありますが、自分のためにも、また職場で応援してくださる方々のためにも一日一日を大切にしていきたいと思っています。

今後は2ヶ月後の講道館杯での優勝を目標に日々努力していきます。

【成績】

優勝 花本隆司 (京葉ガス)
準優勝 谷口 徹 (旭化成)
第3位 法兼 真 (ALSOK)
第3位 西岡和志 (京葉ガス)

▽準々決勝

○谷口 小内刈 斎藤 (JAE JAPAN)
○西岡 優勢勝 稲葉 (アイコロ)
○法兼 すくい投 垣田 (旭化成)
○花本 背負投 山本 (九州電力)

▽準決勝

○谷口 優勢勝 西岡
○花本 背負投 法兼

▽決勝

○花本 袖釣込腰 谷口

男子73kg級

”接戦を制した新人齋藤、鳥居のV8を阻み、嬉しい初優勝“

この階級2連覇中の了徳寺学園のベテラン鳥居は、この大会で更に円熟味を増した柔道を見せ、不戦勝を含むオール一本勝で準決勝戦へ進出。自衛隊体育学校の赤迫との一戦は、延長戦引分後、2対1の判定で際どい勝利を収めて8度目の決勝戦に臨む。対する旭化成の新人齋藤は、ここまでオール一本勝の新田クラブ榎本との準決勝戦を、開始早々の巧みな裸絞で制し、楽々と決勝戦に駒を進めた。

新旧対決の決勝戦。鳥居は背負投、巴投、齋藤が体落、内股、小外刈、大外刈と互いに得意技を繰り出す。決定打無く引分けて延長戦に。延長戦に入るとスタミナに優る齋藤の攻撃に鳥居は防御に回る。しかし、両者共に決定的なポイント無く時間。旗判定では延長戦での鳥居の劣勢は否めず、旗は白色3本齋藤に上がる。鳥居の三連覇、通算8度目の優勝ならず、気鋭の齋藤に凱歌が上がる。



優勝した齋藤選手
(旭化成)

齋藤の話

初出場という緊張は特にありませんでしたが、ここ1年大きな大会で自分の力を発揮できず負けてしまうことが多かったため、なんとしても勝ちたいと思っていました。当日はコンディションも良く、これまで取り組んできた練習の成果を十分に出した結果が優勝につながったと思います。特に、決勝戦では精神的にきつい試合になりましたが、集中を切らず戦えたことで自分の成長を実感できました。

【成績】

優勝 齋藤 涼 (旭化成)
準優勝 鳥居智男 (了徳寺学園)
第3位 榎本 収 (新田クラブ)
第3位 赤迫佑介 (自衛隊体育学校)

▽準々決勝

○鳥居 弘腰 坂本 (高宮接骨院)
○赤迫 優勢勝 安東 (高宮接骨院)
○齋藤 優勢勝 丸山 (東芝)
○榎本 三角絞 千葉 (旭化成)

▽準決勝

○鳥居 判定勝 赤迫
○齋藤 裸絞め 榎本

▽決勝

○齋藤 判定勝 鳥居

男子66kg級

”階級を上げた浅野が全試合一本勝。念願の優勝に花を添える“

初出場の和歌山柔栄会の日置が、共にオール一本勝で勝ち上がったパーク24の新人青木との準決勝戦を、序盤の56秒に背負投から大外刈の連絡技で倒して決勝戦に進出。片や、浅野は60kg級から階級を上げて2年ぶりに出場し、オール一本勝で勝ち進み、準決勝戦でフォーリーフジャパン荘司と対戦。日置は、荘司の首から突つ伏す反則で勝利を我がものに、堂々決勝戦へ。

日置右組み、浅野左組みの決勝戦。互いに技を繰り出す。次第に手数の減った日置に1分11秒、指導1。続く3分10秒には指導2。その直後の3分18秒には、リードされて挽回を期す日置の勢い込むその一瞬の隙を衝いて、浅野が左小内刈で低く刈り込めば、これが見事に決まり一本。浅野、階級転換が功を奏し念願の初優勝。



優勝した浅野選手
(自衛隊体育学校)

浅野の話

66kg級に上げて初めての試合だったので、自分の柔道が通用するかという不安や緊張もあったが、減量がなかったおかげで、思った以上に体が動き日ごろ培った技術や体力を試合ですべて発揮することが出来ました。今回このような結果を残せたのも日頃から支えてくださった監督・コーチをはじめ、自衛隊体育学校関係者の皆様のおかげだと思います。結果で恩返し出来るよう、講道館杯も優勝目指して頑張ります。

【成績】

優勝 浅野大輔 (自衛隊体育学校)
準優勝 日置悠真 (和歌山柔栄会)
第3位 青木勇介 (パーク24)
第3位 荘司和太 (フォーリーフジャパン)

▽準々決勝

○日置 背負投 小宮山 (明治医科大学)
○青木 内股 鈴木 (金沢学院クラブ)
○浅野 一本背負 小倉 (K・Kスポーツ)
○荘司 合せ技 赤木 (東洋水産)

▽準決勝

○日置 大外刈 青木
○浅野 反則勝 荘司

▽決勝

○浅野 小内刈 日置

男子60kg級

“2年連続決勝戦対決の小川が今年も和泉を退け、前人未到の6連覇”

6連覇を目指す了徳寺学園小川は、オール一本勝で勝ち進み、準決勝戦でも水戸葵陵柔道クラブの尾張から中盤までに指導2を奪う。そして迎えた2分40秒には得意の右一本背負投で一本勝。

一方、昨年の決勝戦で小川に一敗地にまみれた自衛隊体育学校の和泉は、実力を発揮して順当に勝ち進み、準決勝戦でさふ柔道クラブ24の笠井を終了20秒前にすくい投で有効を奪って降し、再び小川との決勝戦に臨む。

決勝戦は共に右組み。序盤は小川は背負投、袖釣込腰、巴投、和泉が体落、背負投と互いに攻め合う展開。しかし、徐々に和泉の攻撃が止み1分16秒、1分58秒と連続して指導を受ける。その後和泉は攻撃を再開するが、共に決め手を欠き時間。小川、昨年に続き和泉を制し、実に本大会6連覇の偉業達成。



優勝した小川選手
(了徳寺学園)

小川の話

今大会で勝てた事は大変自信になりました。また、たくさんの課題も見つける事ができました。自信をもち、課題を克服していき、次の試合では、今回の試合よりも強くなったところを見せられる様に、頑張ります！

【成績】

優勝 小川武志 (了徳寺学園)

準優勝 和泉強志 (自衛隊体育学校)

第3位 尾張太一 (水戸葵陵柔道クラブ)

第3位 笠井貢太 (さふ柔道クラブ24)

▽準々決勝

○小川 背負投

柴田 (豊田自動織機)

○尾張 優勢勝

水野 (日本駐車場)

○和泉 大外刈

大登 (北関東総合警備)

○笠井 合せ技

佐藤 (駒澤大学柔友会)

▽準決勝

○小川 背負投

尾張

○和泉 優勢勝

笠井

▽決勝

○小川 優勢勝

和泉

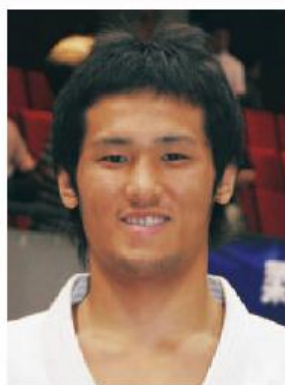
男子22歳未満

“新日本製鐵・広畑の3選手が入賞、その頂点に小野が立つ”

オール一本勝で無敵の進軍を続けた新日本製鐵・広畑の岡が、ダイコロの新人18歳の平井から3分6秒、豪快な内股の一本勝を奪い、昨年に続き決勝戦に進出。

同じチーム同士の対戦となった一方の準決勝戦では、長身を利用した豪快な柔道で、圧倒的な強さを発揮してオール一本勝で勝ち上がった新日本製鐵・広畑の小野が、僚友の小林を1分10秒、袈裟固一本で破り決勝戦初進出。

準決勝戦に続いて同じチーム同士の対決となった決勝戦。互いに手の内を知り尽くす左右のケンカ組手の両者は、中盤までは動きなく単調な試合展開。中盤の2分33秒によりやく小野が払腰で岡を崩し、伏せた岡を巧みに裏返して袈裟固でがっちり抑え込む。3分21秒にブザーが響き、小野の初優勝成る。表彰台は優勝、準優勝、3位入賞の新日本製鐵・広畑の若手3選手が並び立つ圧巻の光景。



優勝した小野選手
(新日鐵・広畑)

小野の話

先ずは22歳未満級で優勝することを目標にし、日々の練習に励んできました。この結果に満足せず、一つの通過点として次の目標に向かい少しでも早く成長できるように頑張ります。そして、日頃からお世話になっています職場の方々、柔道に集中できる環境を作ってくれている会社・後援会の皆様方への感謝の気持ちを忘れず、一つでも多くの結果を残し恩返しできるように、これからも日々精進してまいります。

【成績】

優勝 小野勇輝 (新日本製鐵・広畑)

準優勝 岡 一太郎 (新日本製鐵・広畑)

第3位 小林真也 (新日本製鐵・広畑)

第3位 平井泰輔 (ダイコロ)

▽準々決勝

○岡 払腰

崎村 (台高製鉄)

○平井 小外刈

増岡 (三菱重工・名古屋)

○小林 優勢勝

和久田 (東レ・滋賀)

○小野 内股

川内 (VKK)

▽準決勝

○岡 内股

平井

○小野 崩上四方固

小林

▽決勝

○小野 袈裟固

岡

女子78kg超級

“新人石山、昨年チャンピオンの立山を倒す殊勲の優勝”

昨年のチャンピオン、フォーリーフジャパンの立山は日本エースサポート船越との初戦では僅差判定勝という接戦を余儀なくされたが、準決勝戦では開始早々に支釣込足で河井を転がして有効を奪い、そのまま縦四方固でがっちり抑え込む。立山難なく決勝戦へ進出。

対する丸順の新人石山は、初戦を一本勝で制して準決勝戦に進み、近大クラブの野方を開始早々がっちり組み止めるや否や、大内刈で場外際まで押し込み背中から倒して開始20秒で一本勝。決勝戦に駒を進める。

決勝戦。連覇を狙う立山は、右組みから強引な大外刈、払腰で石山を攻め、石山は右の一本背負投で応じるが、共に決め手を欠いて引分ける。延長戦も同じような展開となったが、1分過ぎに石山が低い右背負投で立山を担ぎに行き、立山がこれを堪えるところを1分11秒、石山が立ち上がりざま大内刈を見舞うと、踏ん張って受けていた立山はバランスを崩し尻から崩れる。これが有効と宣告されて勝負が決す。石山、初出場を優勝で飾る。



優勝した石山選手
(丸順)

石山の話
初めての実業団の大会なので、最初から全力で勝ちたいという気持ちで臨みました。学生と違い仕事と柔道の両立が大変で、思うように練習が出来なかったこともありましたが、岐阜に来て周囲の方々に応援していただき、それがとても大きな力になりました。
次は講道館杯でひとつでも上を目指して頑張ります。

【成績】

優勝 石山麻弥(丸順)
準優勝 立山真衣(フォーリーフジャパン)
第3位 河井美樹(瀬野川病院)
第3位 野方ゆかり(近大クラブ)

▽二回戦

●立山 判定勝 船越(日本エースサポート)
○河井 優勢勝 野瀬(仁康会小泉病院)
○野方 袈裟固 大木(〇A.E.柔道クラブ)
○石山 大内刈 杉本(仁康会小泉病院)

▽準決勝

○立山 縦四方固 河井
○石山 大内刈 野方

▽決勝

○石山 優勢勝 立山

女子78kg級

“池田、長身選手を次々撃破、身長差を克服して嬉しい初優勝”

北関東総合警備保障の柴野は、準決勝戦までオール一本勝で勝ち進んだ一昨年の覇者の帝京大学柔道クラブ鳥谷部に対し、2分44秒に払腰で有効を奪い、そのまま崩壊装固に抑え込んで決勝戦初進出を果たす。

一方の自衛隊体育学校の池田は、ミキハウスの穴井と準決勝戦で相まみえる。本大会初出場、身長で20cm近く優る長身の穴井が奥襟を握って盛んに内股を仕掛けるところ、上背の無い池田であるが、組み負けせず左組みから一本背負投、体落で応じ、1分22秒穴井の内股を鮮やかな内股すかしで技ありを奪い、そのまま穴井の反撃をしのぎ時間。池田決勝戦へ駒を進める。

決勝戦は柴野右組み、池田左のケンカ組手の対戦。上背で劣る池田は積極的に前に出て背負投、体落で攻める。守る柴野に32秒指導1。その後柴野が内股、大外刈で攻めるが間合いが届かず。池田も左組みから右一本背負投で攻める。終盤までこうした攻防が続くが、残り12秒によりやく池田が柴野の懐に潜り込むような低い体落で柴野を前に転がして有効を奪う。池田が嬉しい初優勝。



優勝した池田選手
(自衛隊体育学校)

池田の話
今大会は「必ず優勝する」という気持ちで試合に挑み、まだまだ課題はありますが、うまく結果を残すことが出来ました。
自分自身でも大変うれしく感じていましたが、それ以上に自衛隊体育学校の仲間が、自分のことのように笑顔で祝福してくれたことが一番の喜びでした。

【成績】

優勝 池田ひとみ(自衛隊体育学校)
準優勝 柴野亜希(北関東総合警備保障)
第3位 鳥谷部真弓(帝京大学柔道クラブ)
第3位 穴井さやか(ミキハウス)

▽三回戦

○柴野 優勢勝 北田(ワイエスフード)
○鳥谷部 袈裟固 熱海(ヤジススケサレブ)
○穴井 優勢勝 高橋(三井住友海上火災保険)
○池田 内股 石川(日本エースサポート)

▽準決勝

○池田 優勢勝 穴井
○柴野 崩壊装固 鳥谷部

▽決勝

○池田 優勢勝 柴野

女子70kg級

“今井が、上野、川上等の新鋭選手を撃破し、堂々の3連覇達成”

ディフェンディング・チャンピオン了徳寺学園の今井は、緒戦の第2回戦、第3回戦を順当に勝ち上がり、準決勝戦で初出場の三井住友海上期待の新鋭上野と対戦。今井は上背で劣れども右釣手で奥襟を制して、右内股の連続攻撃で上野から指導2を奪う。終盤の上野の左体落、左内股の反撃も奏功せず、三連覇を目指す今井が堂々決勝戦へ。片や、フォーリーフジャパンの新人川上は、さふ柔道クラブ24の長瀬との準決勝戦に臨む。試合開始直後から川上が左組みから体落、大内刈、長瀬は右から内股、背負投で互いに攻防を重ねる。2分37秒技が出なくなったところで長瀬に指導1。その後も川上は積極的に攻め続け3分13秒、小外刈で有効を取る。川上は試合終了まで手を緩めることなく優勢に攻め、決勝戦進出を果たす。

決勝戦。今井右組み、川上左組みのケンカ組手。川上が開始早々の12秒、体落から内股で技ありを奪う。今井は挽回を期して内股、体落、大腰、背負投など多彩な技で果敢に攻め1分55秒、防戦になった川上に指導1。猶も攻撃を休めない今井に押され、川上は2分26秒に指導2。その後川上が攻撃を再開し4分11秒、代わって今井に指導1。しかし、4分19秒には今井が右釣手を川上の首に巻き付けて豪快な大腰に入ると、川上は大きく弧を描いて畳に落下。大技で逆転した今井、堂々の3連覇を飾る。



優勝した今井選手
(了徳寺学園)

今井の話
3連覇することができました。応援ありがとうございました。これからも満足することなく精進していきます。

【成績】

優勝 今井優子(了徳寺学園)

準優勝 川上由貴(フォーリーフジャパン)

第3位 上野巴恵(三井住友海上火災保険)

第3位 長瀬めぐみ(さふ柔道クラブ24)

▽準々決勝

○今井 背負投 児山(日本生命保険)

○上野 優勢勝 岡(コマツ)

○長瀬 優勢勝 浜岡(R・Kスポーツ)

○川上 合せ技 石井(三井住友海上火災保険)

▽準決勝

○今井 優勢勝 上野

○川上 優勢勝 長瀬

▽決勝

○今井 大腰 川上

女子63kg級

“阿部、立って良し、寝て良し。昨年の覇者谷本を破り堂々の初優勝”

昨年の覇者コマツ谷本にS・T・Oの新人和田が挑む準決勝戦も、谷本が1分18秒一本背負投で和田を畳に沈め決勝戦の舞台に向かう。ここまでの2試合を一本勝で勝ち上がった和田も谷本の前にあつてなく敗退。

一方、ここまでの2試合を立ち技と寝技による一本勝で制した三井住友海上の阿部が、開始37秒でミキハウス小澤を腕挫十字固で降し、昨年の雪辱を果たすと共に初の決勝戦進出を決める。

谷本右組み、阿部左組みのケンカ組手の両者による決勝戦。共に指導1を受けて延長戦にもつれ込んだ後も両者は一進一退の攻防を続ける。唯一残り33秒、場外付近で阿部が谷本を左送足払で転がす攻防がある。しかし、3分経過してもポイントには共に付かず旗判定に。審判員の判定は白旗3本阿部に上がり、阿部が谷本の連覇を阻みうれしい初優勝を決める。



優勝した阿部選手
(三井住友海上火災保険)

阿部の話
今大会では、必ず優勝したいと強く思っていて、内容は良いものではなかったのですが、今回、初優勝することができとても嬉しく思っています。
試合当日は、監督・コーチをはじめ沢山の皆さんにサポートしてもらい、とても感謝の気持ちでいっぱいです。これからもこの勢いに乗って結果を残していきたいです。

【成績】

優勝 阿部香菜(三井住友海上火災保険)

準優勝 谷本育実(コマツ)

第3位 和田麻未(S・T・O)

第3位 小澤理奈(ミキハウス)

▽準々決勝

○谷本 優勢勝 磯辺(自衛隊体育学校)

○和田 袈裟固 相澤(ヤングスアカデミー)

○小澤 優勢勝 田淵(東海旅客鉄道)

○阿部 袈裟固 伊福(白米精製サレービ)

▽準決勝

○谷本 一本背負 和田

○阿部 腕挫十字固 小澤

▽決勝

○阿部 判定勝 谷本

女子57kg級

“攻めの佐藤、最後まで攻め続けて栄冠を勝ち取る”

共に右組みの両者の準決勝戦は、了徳寺学園佐藤が右背負投、左袖釣込腰で盛んに攻撃を重ねる。自衛隊体育学校の藤田はこれをよくしのぐ。藤田は佐藤の両袖を握って佐藤の背負投を封じて佐藤の攻撃を防ぎ3分22秒共に指導1を受ける。しかし、攻め続ける佐藤は、ようやく残り18秒に低い右背負投で有効を奪い、決勝戦進出を果たす。

対する自衛隊体育学校の平井は、三井住友海上の塩瀬との準決勝戦に臨む。塩瀬はここまでオール一本勝。ケンカ組手の両者は組手争いに終始し、3分56秒平井への指導1で引分に終わる。続く延長戦では開始間もない24秒、平井の右袖釣込腰が見事に決まって一本。平井、初出場で決勝戦進出を果たす。

決勝戦。序盤から佐藤が攻勢に出て、右組みから巴投、大内刈、体落、背負投、寝技で平井を攻める。中盤に至り佐藤の攻めが更に厳しくなり2分25秒技の出ない平井に指導1。その後も佐藤の攻撃は止まず、防衛一方の平井に終盤4分16秒、2度目の指導。そのままプザーが鳴り、攻め続けた佐藤が念願の初優勝を果たす。



優勝した佐藤選手
(了徳寺学園)

佐藤の話

初めて実業団個人大会に出場し優勝することができて、とてもうれしく思います。いつも柔道に専念できる環境を与えてくださったという所屬に感謝しています。

また大好きな柔道ができて、とても幸せに思います。今回の優勝で講道館杯に向けて先の一歩が切れました。自分らしく一つずつ頑張っていきたいと思います。ありがとうございます。

【成績】

優勝 佐藤愛子 (了徳寺学園)

準優勝 平井 希 (自衛隊体育学校)

第3位 塩瀬絢子 (三井住友海上火災保険)

第3位 藤田康恵 (自衛隊体育学校)

▽準々決勝

●藤田 判定勝 野中 (コマツ)

●佐藤 優勢勝 広村 (自衛隊体育学校)

●平井 優勢勝 上原 (J自衛隊体育学校)

●塩瀬 背負投 岩田 (コマツ)

▽準決勝

●佐藤 優勢勝 藤田

●平井 袖釣込腰 塩瀬

▽決勝

●佐藤 優勢勝 平井

女子52kg級

“近藤が対戦相手を危なげなく退け輝く3連覇達成”

2年連続のチャンピオン近藤は、緒戦の第2回戦と第3回戦を難なく突破して準決勝に進出。了徳寺学園の森本を終盤の3分15秒に一本背負投、3分48秒には小内刈で続けて有効を奪い、危なげなく一昨年、昨年に続き決勝戦に駒を進める。

片や、自衛隊体育学校の小島と龍谷クラブの井上との準決勝戦。ケンカ組手の両者の対戦は、右組みの小島が中盤の2分41秒と2分53秒、続けざまに小外掛で有効を奪う。更に終盤の3分50秒には背負投、技ありからそのまま寝技で攻めて、3分55秒腕絡みで一本勝。小島3年連続の決勝戦進出。

近藤と小島の3年連続の決勝戦での対戦は、近藤が右組みから左一本背負投を連発し、防衛の小島に1分11秒指導1。そして、近藤は1分53秒に場外際に追い込みながら左大外刈で有効を奪いリードを拡大。近藤はその後も攻撃を休めず、防衛の小島に2分17秒指導2。更にリードを広げた近藤は猶も攻撃を続けて時間終了。近藤堂々の3連覇を果たす。



優勝した近藤選手
(S・T・O)

近藤の話

今回、優勝出来たことは大変嬉しく思うと共に、関係各位の皆様感謝しております。私自身大学のコーチをさせて頂いていることもあり、女子学生が卒業し現役継続の難しさを痛感することが多々あります。このような現実の中、地方で現役を続け日本一を目指すことの出来る環境にありがたく思います。

これからも、自分の実力に限界を決めず常に上を目指し、11月の講道館杯では心身共に充実させ、優勝を目標に頑張っていきたいと思っています。

【成績】

優勝 近藤優子 (S・T・O)

準優勝 小島愛子 (自衛隊体育学校)

第3位 森本奈々美 (了徳寺学園)

第3位 井上美果子 (龍谷クラブ)

▽準々決勝

●近藤 優勢勝 継田 (自衛隊体育学校)

●森本 判定勝 野々部 (OAEクラブ)

●小島 払腰 小野村 (フルド龍谷)

●井上 判定勝 秋山 (金剛堂)

▽準決勝

●近藤 優勢勝 森本

●小島 腕絡み 井上

▽決勝

●近藤 優勢勝 小島

女子48kg級

“山岸、延長戦のあつけない勝利で、念願の初優勝を果たす”

米田柔整専門学校校の萩野対ぎふ柔道クラブ24の伊部、共に第2戦目となる準決勝戦は、両者、両袖を握る変則的な柔道で争う。両者足技の応酬の中、1分過ぎに伊部が萩野の右出足払を左足からつばめ返で切り返して有効を奪う。伊部はそのまま寝技で攻め、1分55秒横四方固で一本勝。新人伊部、決勝戦に進出。

一方の日大三高柔道クラブの新人皆川と三井住友海上の山岸、共に第2試合目となる準決勝戦。試合開始直後の両者組み手争いを経て、山岸が組み止めるや否や、開始16秒に大外刈で技ありを奪い、そのまま横四方固で抑え込む。合せ技一本、開始48秒の速攻で山岸は2年ぶり、3度目の決勝戦進出を果たす。

決勝戦。序盤は山岸がやや優位に試合を進め、1分35秒伊部に指導1。その後は攻防の乏しい試合展開が続く時間。延長戦でも互いに指を組み合せて攻撃せず、開始40秒に主審が副審を集めて協議。結果、両者に指導が与えられ、新ルール適用（累積）で指導2となった伊部の負けが決まる。あつけない幕切れで山岸の初優勝成る。



優勝した山岸選手
(三井住友海上火災保険)

山岸の話

今回初優勝でき、とてもうれしく思います。試合当日は会社の方が朝から沢山応援に来てくださり、大声援が力になりました。これからもこの勢いにつけて勝ち続けたいと思います。

【成績】

優勝 山岸絵美 (三井住友海上火災保険)

準優勝 伊部尚子 (ぎふ柔道クラブ24)

第3位 皆川はるか (日大三高柔道クラブ)

第3位 萩野早映 (米田柔整専門学校)

▽二回戦

○萩野 優勢勝 谷本 (OJC)

○伊部 優勢勝 嶋田 (天理高校職員クラブ)

○皆川 判定勝 末成 (横浜国大柔友会)

○山岸 袈裟固 石井 (日光警備保障)

▽準決勝

○山岸 合せ技 皆川

○伊部 横四方固 萩野

▽決勝

○山岸 優勢勝 伊部



78kg超級 石山 優勢勝 立山



100kg超級 生田 大外刈 西村



70kg級 今井 大腰 川上



90kg級 吉永 合せ技 増淵

熱戦風景 1

成績表

男子100kg超級(73名)

1 ○須藤 (京業ガス)		37 ○片瀬 (日本中央競馬会)
2 菅井 (センコー)		38 辻 (旭化成)
3 村上 (ALSOK)		39 田村 (東洋水産)
4 長田 (東洋水産)		40 菅野 (ぎふ柔道クラブ24)
5 谷本 (ダイコロ)		41 高久 (北関東総合警備保障)
6 松岡 (東芝)		42 佐々田 (ダイコロ)
7 朝香 (十全会・聖明病院)		43 崎村 (戸高鉱業社)
8 木村 (日柔整請求サービス)		44 西原 (十全会・回生病院)
9 中村 (セコム上信越)		45 工藤 (ALSOK)
10 木村 (旭化成)		46 木藤 (東レ・滋賀)
11 中島 (日本エースサポート)		47 大森 (河内厚生会)
12 森 (九州電力)		48 西村 (了徳寺学園)
13 森田 (新日本製鐵・広島)		49 黒木 (和歌山柔栄会)
14 石崎 (日経サービス)		50 坂本 (セコム柔道クラブ)
15 百瀬 (国土館柔道クラブ)		51 古賀 (京業ガス)
16 山崎 (十全会・回生病院)		52 吉本 (広島大学柔道クラブ)
17 河井 (東レ・滋賀)		53 堀口 (井野整形外科)
18 佐藤 (日本中央競馬会)		54 後藤 (十全会・おおりん病院)
19 ○佐藤 (了徳寺学園)		55 ○合田 (ダイコロ)
20 高須 (ナチュラル)		56 土田 (十全会・聖明病院)
21 石川 (セントラル警備保障)		57 高嶋 (K.Kスポーツ)
22 平江 (本田技研・熊本)		58 岩佐 (東日本旅客鉄道)
23 保科 (横浜国大柔友会)		59 白石 (三菱化学物流)
24 紺野 (京業ガス)		60 藤原 (アーバンセキュリティ)
25 半澤 (ワイエスフード)		61 市川 (京業ガス)
26 日比野 (東海旅客鉄道)		62 小嶋 (新日本製鐵・広島)
27 宮城 (日経サービス)		63 鎮守 (十全会・回生病院)
28 ○石井 (日本中央競馬会)		64 鈴木 (日本中央競馬会)
29 松浦 (新日本製鐵・八幡)		65 沼田 (東レ・滋賀)
30 武田 (広島拘置所)		66 大鋸 (旭化成)
31 高井 (旭化成)		67 三浦 (日本エースサポート)
32 合田 (日本エースサポート)		68 尾本 (九州電力)
33 生田 (ALSOK)		69 藤川 (ALSOK)
34 横尾 (日光警備保障)		70 立松 (米田柔整専門学校)
35 高木 (米田柔整専門学校)		71 濱端 (日本通運)
36 高橋 (戸高鉱業社)		72 森本 (日経サービス)
		73 石丸 (ワイエスフード)

○印はシード選手

成績表

男子100kg級(70名)

1 ○本郷 (フォーリーフジャパン)		36 ○西山 (新日本製鐵・広畑)
2 土井 (近畿通関)		37 浦田 (NEXCO東海倶楽部)
3 當眞 (東芝)		38 松浦 (関西医療学園)
4 田矢 (日経證券サービス)		39 林 (京葉ガス)
5 武井 (セントリー)		40 根本 (MJC)
6 廣瀬 (旭化成)		41 武田 (東芝)
7 川端 (新日本製鐵・広畑)		42 石本 (セントリー)
8 増田 (セントラル警備保障)		43 ラディック (K.Kスポーツ)
9 角 (東レ・滋賀)		44 宮下 (ダイコロ)
10 森安 (日経サービス)		45 猪又 (セコム上信越)
11 大熊 (日本通運)		46 西田 (東日本旅客鉄道)
12 猿田 (東日本旅客鉄道)		47 久米川 (東芝)
13 青田 (海上自衛隊横須賀)		48 山川 (近畿通関)
14 長岡 (日本生命保険)		49 森本 (了徳寺学園)
15 津堅門 (ひらた整骨院)		50 小坂 (日本通運)
16 西條 (十全会・おおりん病院)		51 岡田 (東レ・滋賀)
17 奥井 (東芝)		52 鈴木 (セントリー)
18 田村 (セコム上信越)		53 ○西潟 (旭化成)
19 堀口 (アーバンセキュリティ)		54 濱上 (ALSOK)
20 津志田 (十全会・おおりん病院)		55 東海 (日経サービス)
21 斉藤 (セントリー)		56 松岡 (十全会・おおりん病院)
22 井ノ上 (ALSOK)		57 小野 (セントラル警備保障)
23 清田 (三菱重工・名古屋)		58 川波 (九州電力)
24 野田 (旭化成)		59 出羽 (アーバンセキュリティ)
25 宮原 (帝京大学柔道クラブ)		60 駒瀬 (セントリー)
26 島 (三菱化学物流)		61 小林 (ナルックス)
27 阪本 (明治東洋医学専門学校)		62 下川 (関西大学柔友会)
28 田村 (東レ・滋賀)		63 中島 (九電工)
29 折田 (日経サービス)		64 志村 (東芝)
30 佐藤 (MJC)		65 設楽 (東洋水産)
31 鈴木 (東芝)		66 織茂 (東京消防庁)
32 影野 (日本通運)		67 齋藤 (新日本製鐵・広畑)
33 細田 (戸高鉱業社)		68 遠藤 (三菱化学物流)
34 谷村 (大阪ガス)		69 吉岡 (東海旅客鉄道)
35 千葉 (まるや接骨院)		70 平田 (ひらた整骨院)

○印はシード選手

成績表

男子90kg級(79名)

1 ○増 潤 (旭 化 成)		40 ○菊 川 (○ J C)
2 山 口 (東 洋 水 産)		41 下 川 (関西学院柔道クラブ)
3 比留川 (高 宮 接 骨 院)		42 田 中 (旭 化 成)
4 福 林 (米田柔整専門学校)		43 桂 (大阪府柔道整復士会)
5 岩 井 (アーバンセキュリティ)		44 春日井 (米田柔整専門学校)
6 小野寺 (千代田インテグレ)		45 久保寺 (東 芝)
7 佐 俣 (ALSOK警備ガードシステム)		46 武 井 (アドリアインターナショナル)
8 上 (セントラル警備保障)		47 鹿 内 (東日本旅客鉄道)
9 橋 本 (東 京 消 防 庁)		48 又 未 (十全会・聖明病院)
10 河 原 (京 業 ガ ス)		49 野 瀬 (国士舘柔道クラブ)
11 松 本 (明治東洋医学専門学校)		50 福 田 (関西大学柔友会)
12 吉 崎 (新日本製鐵・広畑)		51 八 田 (駒澤大学柔友会)
13 三 宅 (ツクバ計画)		52 砂 原 (近 畿 通 関)
14 高 田 (まるや接骨院)		53 松 宮 (新日本製鐵・広畑)
15 齊 藤 (アドリアインターナショナル)		54 井 川 (M J C)
16 前 田 (東日本旅客鉄道)		55 志 賀 (セントラル警備保障)
17 堀 田 (関西学院柔道クラブ)		56 近 藤 (九 州 電 力)
18 吉 村 (ゆうスポーツクラブ)		57 浅 田 (大 阪 ガ ス)
19 河 合 (セ ン コ ー)		58 佐 藤 (ツクバ計画)
20 ○穴 井 (了 徳 寺 学 園)		59 竹 森 (高 宮 接 骨 院)
21 須 藤 (仙台大学柔道クラブ)		60 ○西 田 (旭 化 成)
22 馬 場 (中京柔道クラブ)		61 渡 邊 (三菱化学物流)
23 瀬 尾 (大 東 柔 整)		62 菊 地 (北関東総合警備保障)
24 河 添 (旭 化 成)		63 松 田 (ゆうスポーツクラブ)
25 永 田 (大阪府柔道整復士会)		64 近 間 (立 川 拘 置 所)
26 和 知 (日光警備保障)		65 相 沢 (東 洋 水 産)
27 吉 田 (十全会・同生病院)		66 江 原 (セントラル警備保障)
28 杉 本 (豊田自動織機)		67 加 藤 (米田柔整専門学校)
29 國 分 (国 分 自 衛 隊)		68 松 岡 (府 中 刑 務 所)
30 ○山 本 (日本中央競馬会)		69 清 水 (東日本旅客鉄道)
31 金 子 (セ ン コ ー)		70 吉 永 (新日本製鐵・広畑)
32 安 齋 (駒澤大学柔友会)		71 中 濱 (京 業 ガ ス)
33 山 崎 (三菱重工業・名古屋)		72 笠 原 (まるや接骨院)
34 三 山 (日 本 通 運)		73 金 澤 (日光警備保障)
35 金 元 (日本健康医療専門学校)		74 棚 橋 (豊田自動織機)
36 池 崎 (新日本製鐵・八幡)		75 浦 上 (十全会・おおりん病院)
37 岸 川 (三菱化学物流)		76 沼 田 (セ ン コ ー)
38 丹 羽 (M J C)		77 矢 野 (日 本 通 運)
39 田 畑 (セントラル警備保障)		78 崎 村 (戸 高 紙 業 社)
		79 西 山 (トーエー企業)

○印はシード選手

成績表

男子81kg級(99名)

花本

1 谷口 (旭化成)

2 齋藤 (豊田自動織機)

3 田辺 (JFEスチール)

4 高橋 (東海旅客鉄道)

5 小林 (北関東総合警備保障)

6 能勢 (東京消防庁)

7 矢野 (神鋼環境ソリューション)

8 村松 (了徳寺学園)

9 竹村 (日本健康医療専門学校)

10 桑原 (十全会・おおりん病院)

11 三尾 (明治海洋医学専門学校)

12 信國 (三井索道クラブ)

13 長谷川 (大阪府柔道整復師会)

14 相澤 (杉並柔道教室)

15 斎藤 (JAKE・JAPAN)

16 大森 (錦秀会 阪和病院)

17 中塚 (和歌山柔栄会)

18 乙名 (新日本製鐵・八幡)

19 島田 (戸高鋳業社)

20 五十嵐 (甲府刑務所)

21 野邊 (セコム上信越)

22 渡邊 (日経サービス)

23 渡邊 (クラレ・岡山)

24 西岡 (十全会・聖明病院)

25 嶋 (京業ガス)

26 小嶋 (センコー)

27 前田 (錦秀会 阪和病院)

28 下村 (国分自衛隊)

29 茅島 (広島大学柔道クラブ)

30 箱田 (ALSOX 鶴崎・ドラスム)

31 松原 (和歌山柔栄会)

32 佐藤 (松前柔道クラブ)

33 横山 (井野整形外科)

34 杉山 (肥後銀行)

35 小倉 (海上自衛隊横須賀)

36 大城 (アドリアン・ナショナル)

37 野々 (新日本製鐵・八幡)

38 稲葉 (ダイコロ)

39 島本 (東レ・滋賀)

40 宮原 (セコム上信越)

41 浅見 (近畿通関)

42 大岩 (ナチュラル)

43 加藤 (建設工業)

44 原 (十全会・回生病院)

45 高山 (九電工)

46 佐藤 (衆議院事務局)

47 後藤 (杉並柔道教室)

48 野村 (自衛隊体育学校)

49 高野 (千葉市消防局)

50 法兼 (ALSOK)

51 望月 (ワイエスフード)

52 平野 (和歌山柔栄会)

53 佐々木 (セントラル警備保障)

54 前田 (錦秀会 阪和病院)

55 牛尾 (甲府刑務所)

56 福田 (東レ・名古屋)

57 山下 (大阪府柔道整復師会)

58 ゴンバル (京都健康専門学校)

59 山本 (日本生命保険)

60 井原 (ダイコロ)

61 森本 (住友信託銀行)

62 垣田 (旭化成)

63 日當 (日本通運)

64 珠玖 (近畿通関)

65 丸山 (和歌山柔栄会)

66 篠崎 (創柔会柔道クラブ)

67 野中 (肥後銀行)

68 横山 (井野整形外科)

69 黒澤 (東レ・滋賀)

70 須藤 (寄居明道館)

71 菊池 (ぎふ柔道クラブ24)

72 山田 (三菱重工・名古屋)

73 横山 (豊田自動織機)

74 小吉 (近畿医療)

75 塘内 (旭化成)

76 布施 (錦秀会 阪和病院)

77 布崎 (広島大学柔道クラブ)

78 濱村 (日本健康医療専門学校)

79 田中 (松前柔道クラブ)

80 森田 (建設工業)

81 野田 (杉並柔道教室)

82 逸見 (セコム上信越)

83 花本 (京業ガス)

84 西村 (府中刑務所)

85 平尾 (高宮接骨院)

86 阿部 (十全会・おおりん病院)

87 入部 (関西学院柔道クラブ)

88 北井 (新日本製鐵・八幡)

89 中川 (東芝)

90 吳 (早稲田柔道クラブ)

91 山本 (九州電力)

92 向原 (和歌山柔栄会)

93 藤原 (日東研求サービス)

94 三原 (東日本旅客鉄道)

95 藤井 (日経サービス)

96 日蔭 (国土館柔道クラブ)

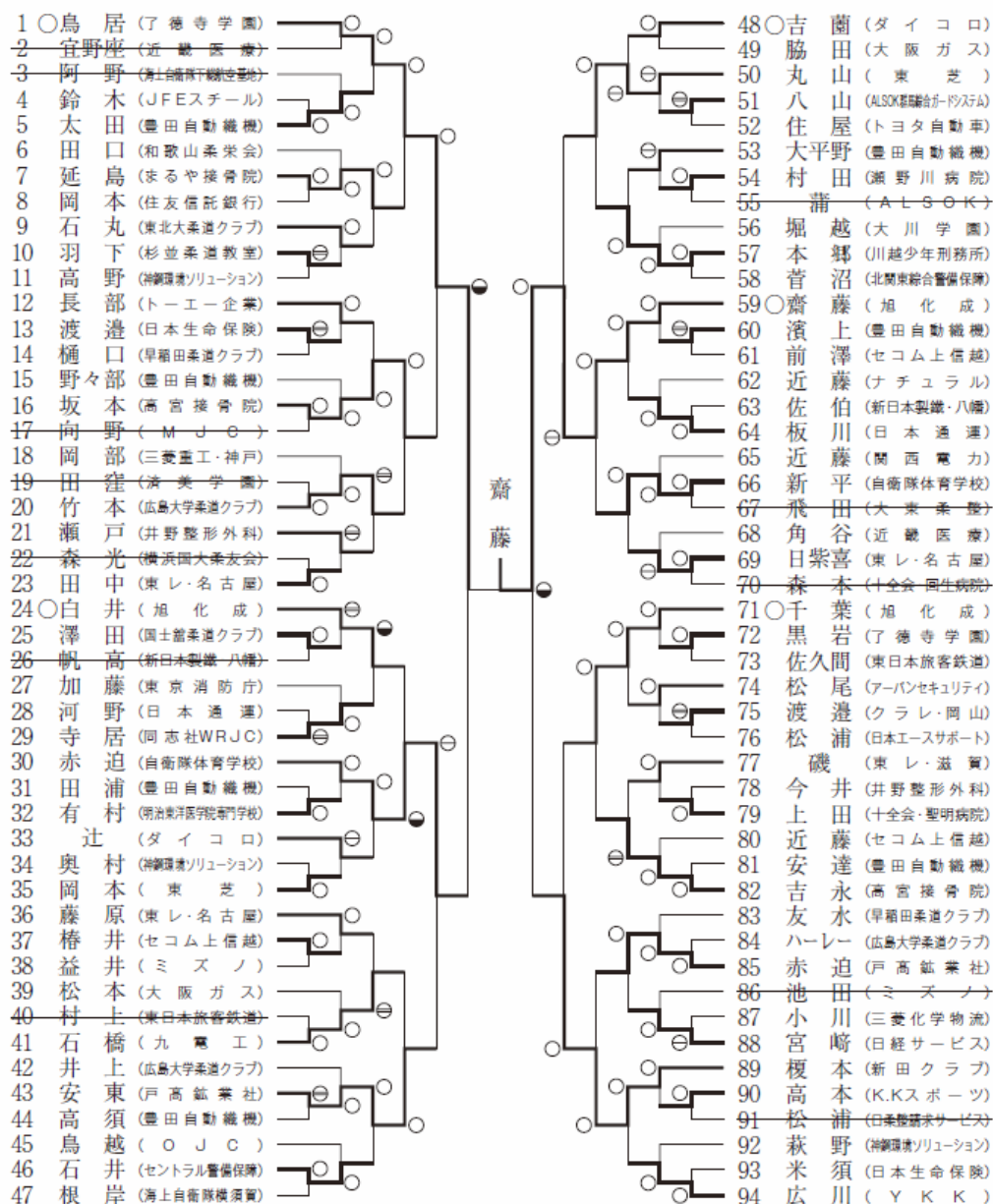
97 石井 (関西電力)

98 高橋 (ALSOX 鶴崎・ドラスム)

99 伊藤 (東北柔道クラブ)

○印はシード選手

男子73kg級(94名)



○印はシード選手

成績表

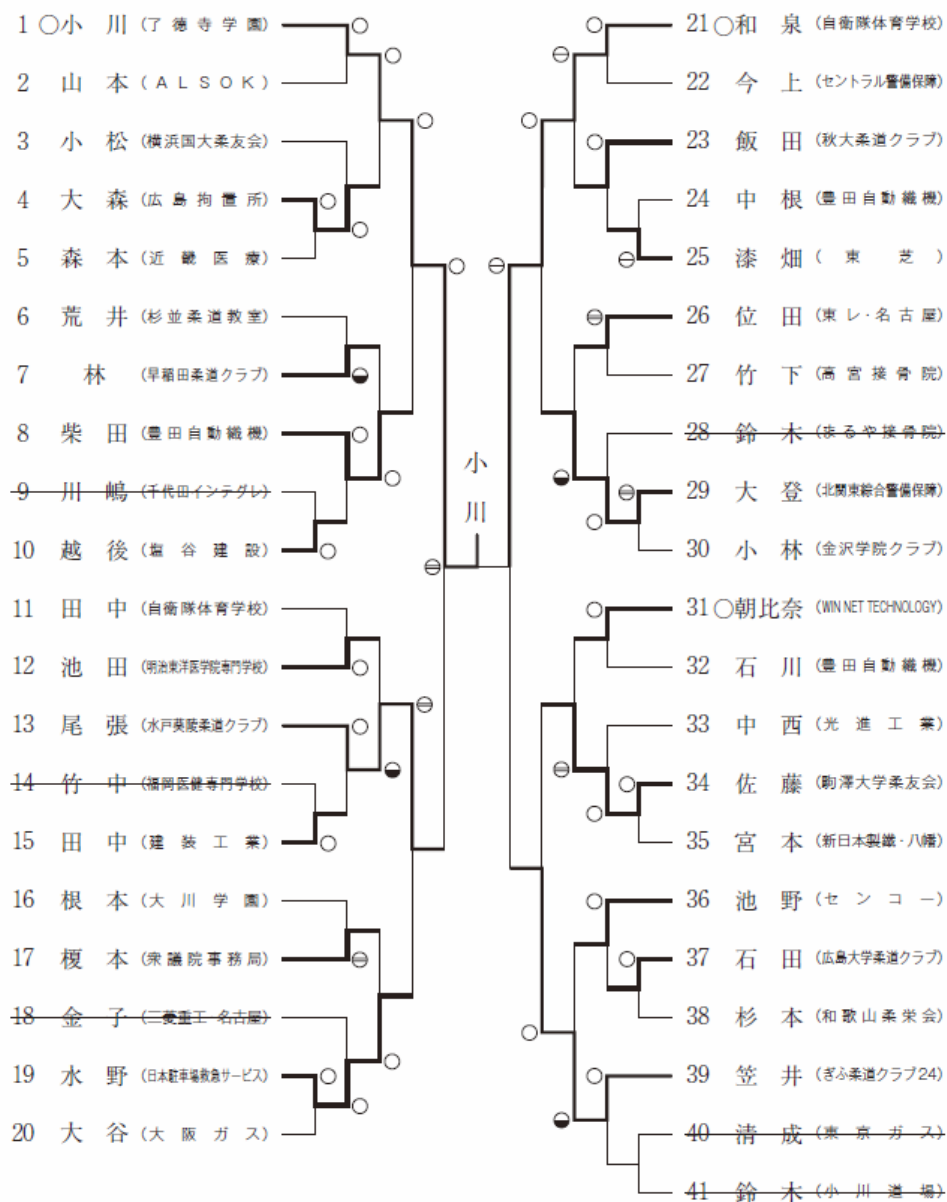
男子66kg級(77名)

1 ○望月 (セーヨー)		39 ○武末 (東芝)	
2 中山 (大阪ガス)		40 小倉 (K.Kスポーツ)	
3 五百歳 (住友信託銀行)		41 山本 (建築工業)	
4 羽原 (大阪府柔道整復師柔道連盟)		42 豊田 (国士舘柔道クラブ)	
5 久保 (国士舘柔道クラブ)		43 坂本 (ミズノ)	
6 小野 (Assist)		44 土井 (住友信託銀行)	
7 西林 (関西電力)		45 渡邊 (関西学院柔道クラブ)	
8 日置 (和歌山柔栄会)		46 西倉 (日柔整請求サービス)	
9 松田 (瀬野川病院)		47 戸所 (甲府刑務所)	
10 青木 (スポーツ会館)		48 浅野 (自衛隊体育学校)	
11 升水 (紀宝柔道会)		49 田畑 (セーヨー)	
12 小宮山 (明治東洋医学専門学校)		50 糺 (甲南柔栄会)	
13 菊田 (東日本旅客鉄道)		51 塚本 (日本生命保険)	
14 辻下 (日本エースサポート)		52 中島 (スポーツ会館)	
15 秋元 (了徳寺学園)		53 岩本 (瀬野川病院)	
16 馬場 (クラレ・岡山)		54 鈴木 (セントラル警備保障)	
17 鳥入 (近畿通関)		55 樋口 (パーク24)	
18 荘司 (ALSOK)		56 荘司 (紀宝柔道会)	
19 阪口 (ミズノ)		57 梅津 (ALSOK)	
20 ○寺居 (旭化成)		58 ○藤山 (熊本刑務所)	
21 正田 (住友信託銀行)		59 麓 (明治東洋医学専門学校)	
22 本田 (セントラル警備保障)		60 喜多 (大阪ガス)	
23 赤坂 (関西学院柔道クラブ)		61 松尾 (日本通運)	
24 鈴木 (金沢学院クラブ)		62 荘司 (フォーリーフジャパン)	
25 根本 (早稲田柔道クラブ)		63 三浦 (住友信託銀行)	
26 成井 (杉並柔道教室)		64 伊東 (ナチュラル)	
27 鈴木 (松前柔道クラブ)		65 井浦 (早稲田柔道クラブ)	
28 西口 (米田柔整専門学校)		66 柿崎 (川越少年刑務所)	
29 西山 (神鋼環境ソリューション)		67 飯島 (関西学院柔道クラブ)	
30 市山 (福岡医療専門学校)		68 笠 (肥後銀行)	
31 横口 (ぎふ柔道クラブ24)		69 赤木 (東洋水産)	
32 岡本 (日経サービス)		70 柴田 (トヨタ自動車)	
33 大野 (東レ名古屋)		71 小川 (日本貨物鉄道)	
34 城後 (大阪ガス)		72 山口 (神鋼環境ソリューション)	
35 青木 (パーク24)		73 湊 (九電工)	
36 原木 (ワイエスフード)		74 武田 (十全会・おおりん病院)	
37 川北 (JFEスチール)		75 百村 (北関東総合警備保障)	
38 羽佐田 (トヨタ自動車)		76 草野 (セーヨー)	
		77 島津 (和歌山柔栄会)	

○印はシード選手

成績表

男子60kg級(41名)



○印はシード選手

成績表

男子22歳未満(55名)

1 ○ 岡 (新日本製鐵・広島)	○	28 ○ 和久田 (東レ・滋賀)	○
2 佐藤 (東日本旅客鉄道)	○	29 丸山 (広島拘置所)	○
3 山富 (三菱重工・名古屋)	○	30 坂田 (十全会・回生病院)	○
4 加藤 (衆議院事務局)	○	31 滝田 (京都医療専門学校)	○
5 関口 (日本警察医療専門学校)	○	32 倉田 (トヨタ自動車)	○
6 矢田 (本田技研・熊本)	○	33 吉川 (セコム上信越)	○
7 古澤 (京都医療専門学校)	○	34 下田代 (豊田自動織機)	○
8 城戸 (クラレ・岡山)	○	35 小林 (新日本製鐵・広島)	○
9 表 (東レ・滋賀)	○	36 亀井 (陸上自衛隊別府駐屯地)	○
10 玄場 (広島拘置所)	○	37 西田 (近畿医療)	○
11 渭原 (東芝)	○	38 早坂 (セントラル警備保障)	○
12 崎村 (戸高鉱業社)	○	39 寺西 (京都医療専門学校)	○
13 鈴木 (セコム上信越)	○	40 斉藤 (三菱重工・名古屋)	○
14 平井 (ダイコロ)	○	41 小林 (日本貨物鉄道)	○
15 林 (京都医療専門学校)	○	42 三浦 (東日本旅客鉄道)	○
16 荻原 (セントラル警備保障)	○	43 安部 (アイシン精機)	○
17 日名子 (トヨタ自動車)	○	44 高野 (セコム上信越)	○
18 米田 (十全会・回生病院)	○	45 菅田 (大阪ガス)	○
19 畑中 (国分自衛隊)	○	46 稲田 (国分自衛隊)	○
20 江口 (アイシン精機)	○	47 石田 (京都医療専門学校)	○
21 増岡 (三菱重工・名古屋)	○	48 小野 (新日本製鐵・広島)	○
22 山田 (近畿医療)	○	49 岩本 (ALSOX精細給付システム)	○
23 李 (京都医療専門学校)	○	50 原口 (近畿通関)	○
24 松井 (セコム上信越)	○	51 中村 (三菱重工・名古屋)	○
25 柴原 (新日本製鐵・八幡)	○	52 濱田 (錦秀会 阪和病院)	○
26 田中 (YKK)	○	53 零 (十全会・聖明病院)	○
27 安本 (陸上自衛隊別府駐屯地)	○	54 川内 (YKK)	○
		55 寺町 (京都医療専門学校)	○

○印はシード選手

成績表

女子78kg超級(11名)

1 ○立 山 (フォーリーフジャパン)	石	6 ○野 方 (近 大 ク ラ ブ)
2 船 越 (日本エースサポート)	山	7 平 岩 (ALSOK 経 理 学 校)
3 野 瀬 (仁康会・小泉病院)		8 大 木 (OAE 柔 道 ク ラ ブ)
4 小 貫 (松前柔道クラブ)		9 ○石 山 (丸 順)
5 河 井 (瀬 野 川 病 院)		10 前 田 (近 畿 医 療)
		11 杉 本 (仁康会・小泉病院)

女子78kg級(17名)

1 ○平 岡 (平成国際大学柔道クラブ)	池	9 ○高 橋 (三井住友海上火災保険)
2 北 田 (ワイエスフード)	田	10 藤 本 (仁康会・小泉病院)
3 笹 原 (十全会・回生病院)		11 ○穴 井 (ミ キ ハ ウ ス)
4 柴 野 (北関東総合警備保障)		12 遠 藤 (日光警備保障)
5 ○鳥谷部 (帝京大学柔道クラブ)		13 ○石 川 (日本エースサポート)
6 中 川 (京都医健専門学校)		14 甲 斐 (ほ の ほ の 会)
7 ○佐 藤 (コ マ ツ)		15 ○池 田 (自衛隊体育学校)
8 熱 海 (ヤックスケアサービス)		16 比南原 (瀬 野 川 病 院)
		17 長 浦 (米田柔道専門学校)

女子70kg級(26名)

1 ○今 井 (了 徳 寺 学 園)	今	14 ○長 瀬 (ぎふ柔道クラブ24)
2 黒 濱 (創薬会柔道クラブ)	井	15 森 (綾 羽)
3 小 島 (J日東日本グループ)		16 小 林 (立 川 拘 置 所)
4 大 呂 (近 畿 医 療)		17 浜 岡 (K. K ス ポー ツ)
5 今 入 (日本健康医療専門学校)		18 山 本 (瀬 野 川 病 院)
6 児 山 (日本生命保険)		19 森 田 (ほ の ほ の 会)
7 ○岡 (コ マ ツ)		20 ○杉 本 (J日東日本グループ)
8 蘭 田 (仁康会・小泉病院)		21 太 田 (米田柔道専門学校)
9 齋 藤 (北関東総合警備保障)		22 川 上 (フォーリーフジャパン)
10 ○上 野 (三井住友海上火災保険)		23 ○石 井 (三井住友海上火災保険)
11 奥 原 (瀬 野 川 病 院)		24 西 原 (日本エースサポート)
12 市 村 (日本エースサポート)		25 東 (三井生命保険)
13 佐 藤 (横 大 ク ラ ブ)		26 島 本 (ヤックスケアサービス)

女子63kg級(20名)

1 ○谷 本 (コ マ ツ)	阿	11 ○小 澤 (ミ キ ハ ウ ス)
2 松 井 (丸 順)	部	12 中 (京都医健専門学校)
3 高 橋 (京都医健専門学校)		13 田 渕 (東 海 旅 客 鉄 道)
4 仲 井 (関西医療学園)		14 廣 村 (自衛隊体育学校)
5 磯 部 (自衛隊体育学校)		15 鶴 岡 (K. K ス ポー ツ)
6 ○和 田 (S・T・O)		16 ○阿 部 (三井住友海上火災保険)
7 石 井 (日大三高柔道クラブ)		17 橋 本 (仁康会・小泉病院)
8 松 尾 (仁康会・小泉病院)		18 伊 福 (日業整請求サービス)
9 相 澤 (ヤックスケアサービス)		19 川 崎 (日大三高柔道クラブ)
10 栗 田 (日本一ソフトウェア)		20 南 雲 (ALSOK 経 理 学 校)

○印はシード選手

成績表

女子57kg級(30名)

1 ○野 中 (コ マ ツ)	16 ○栗 野 (フォーリーフジャパン)
2 御 厨 (近 大 ク ラ ブ)	17 伊 福 (日薬整請求サービス)
3 渡 津 (仁康会・小泉病院)	18 上 原 (J R 東日本グループ)
4 木根渕 (日大三高柔道クラブ)	19 岡 本 (瀬 野 川 病 院)
5 上 村 (三井住友海上火災保険)	20 藤 井 (横浜国大柔友会)
6 高 部 (日 本 生 命 保 険)	21 平 井 (自衛隊体育学校)
7 藤 田 (自衛隊体育学校)	22 渡 邊 (広島大学柔道クラブ)
8 ○佐 藤 (了 徳 寺 学 園)	23 ○岩 田 (コ マ ツ)
9 西 川 (松前柔道クラブ)	24 柏 木 (自衛隊体育学校)
10 佐々木 (J R 東日本グループ)	25 宮 城 (日本エースサポート)
11 山 本 (肥 後 銀 行)	26 藤 野 (福 大 タ ラ ー フ)
12 ○廣 村 (自衛隊体育学校)	27 ○塩 瀬 (三井住友海上火災保険)
13 石 森 (近 大 ク ラ ブ)	28 パ ニ ー (ワイエスフード)
14 箱 田 (ALSOK 福岡・ドスファム)	29 濱 砂 (近 大 タ ラ ー フ)
15 小 山 (ワールド警備保障)	30 水 田 (松前柔道クラブ)

女子52kg級(27名)

1 ○近 藤 (S・T・O)	14 ○小 島 (自衛隊体育学校)
2 阿 部 (ALSOK 福岡・ドスファム)	15 橋 本 (ヤックスケアサービス)
3 東 川 (ヤックスケアサービス)	16 熊埜御堂 (三井生命保険)
4 横 井 (日薬整請求サービス)	17 小 林 (鳳 川 ク ラ ブ)
5 國 本 (日 光 警 備 保 障)	18 小野村 (ワールド警備保障)
6 継 田 (自衛隊体育学校)	19 阿 部 (藤 野 整 形 外 科)
7 ○森 本 (了 徳 寺 学 園)	20 山 口 (日大三高柔道クラブ)
8 梅 田 (瀬 野 川 病 院)	21 ○武 田 (日本エースサポート)
9 川 越 (仁康会・小泉病院)	22 井 上 (龍 谷 ク ラ ブ)
10 ○野々部 (OAE柔道クラブ)	23 福 田 (日薬整請求サービス)
11 松 本 (日 本 生 命 保 険)	24 濱 崎 (近 大 タ ラ ー フ)
12 大 西 (日大三高柔道クラブ)	25 秋 山 (金 剛 堂)
13 岡 崎 (あまや接骨院)	26 中 澤 (日本生命保険)
	27 宇都宮 (M J C)

女子48kg級(11名)

1 ○谷 本 (オ ジ ュ)	6 ○末 成 (横浜国大柔友会)
2 萩 野 (米田柔道専門学校)	7 矢 野 (三井生命保険)
3 ○伊 部 (ぎふ柔道クラブ24)	8 皆 川 (日大三高柔道クラブ)
4 嶋 田 (天理高校職員クラブ)	9 ○山 岸 (三井住友海上火災保険)
5 剣 持 (綾 羽)	10 宮 林 (日本生命保険)
	11 石 井 (日光警備保障)

○印はシード選手

熱戦風景 2



63kg級 阿部 判定勝 谷本



81kg級 花本 袖釣込腰 谷口



52kg級 近藤 優勢勝 小島



22歳未満 小野 袈裟固 岡



山口信夫会長ご逝去

当連盟会長（旭化成株式会社名誉会長）山口信夫儀
九月十四日 逝去いたしました
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます
尚 葬儀は近親者にて執り行われました
つきましては左記の通り「お別れの会」が相営まれます
のでお知らせ致します

記

一、日時 平成二十二年十一月十九日（金曜日）

正午から午後二時まで

一、場所 帝国ホテル 二階「孔雀の間」

東京都千代田区内幸町一丁目一番一号

電話 〇三（三五〇四）一一一一

一、主催

日本商工会議所 会頭 岡村 正

東京商工会議所

旭化成株式会社

代表取締役会長

伊藤 一郎

喪主 山口 美子